

事業の目標

(成果を測るための KPI 設定)

事業の成果は、単にシステムを導入するだけでなく、具体的な数値目標 (KPI: Key Performance Indicator) を設定して測定しています。令和 6 年度から令和 8 年度までの 3 カ年で、以下の目標達成を目指します。

主要業績評価指標 (KPI)	目標値 (R6 → R7 → R8 度末)
① 保育施設等のシステム利用率	90% → 95% → 100%
② システムに対する満足度 (5 段階評価の平均値)	3.0 → 4.5 → 5.0
③ 保育士が保育に充てる時間の増加 (事務削減による年間増加時間の平均値)	年間 25 時間 → 年間 150 時間 → 年間 200 時間

(1)進捗状況:KPI に対する実績

■ 年度末に実施しているアンケート調査の結果

①保育施設等のシステム利用率:アカウント数 82 に対して令和 6 年度は 65 園 (認可保育施設等:私立 54 施設、公立 11 施設) の利用で 80% の利用率となっており、目標達成 (90%) には至っていませんでしたが、令和 7 年度は届出保育施設の利用を進め 80 園 (認可保育施設等:私立 54 施設、公立 11 施設、届出保育施設等:15 施設) の利用で 97% の利用率となり、目標値 (95%) を達成しました。

②システム満足度:令和 6 年度の満足度は平均 3.3 となり、初年度目標 (3.0) を達成しました。2026 年度は 3.4 と微増しておりますが、目標達成 (4.5) には至っていませんので、システムの継続的な改善が不可欠であると認識しています。寄せられた意見を基に、さらなる利便性向上に努めます。

③事務作業にかかる時間の増加:2024 年度の実績では、事務作業の削減により創出された時間は年間平均 56.4 時間に達し、初年度目標 (25 時間) を大幅に上回りました。しかし 2025 年度は年間 72 時間と目標 (150 時間) に未達なため、下記の取組みを実施しました。

【評価及び削減時間数が極端に低い事業者への聞き取り】

アンケート結果において「非常に不満 (1 点)」と回答し、かつ業務削減時間が 0 時間であった事業者に対し、個別にヒアリングを実施し、下記㉞及び㉟の指摘を得ました。

㉞入力・修正作業の負荷:職員情報の登録・修正において、ドラッグ&ドロップなどの操作性が悪く、また異動や削除がスムーズに行えないため、手間が発生している。

㉟システム挙動の遅延:「ページ遷移の読み込みが長い」「データのダウンロードにタイムラグがある」といったシステム挙動の遅さが、日々の業務フローを寸断し、担当者のストレスと待機時間を増大させている。

【改善に向けた開発元(キッズコネクト株式会社)との情報共有】

寄せられたシステムに対する評価は開発元と共有し、より使いやすく、実務に即したシステムへと改善されるよう、協議を重ねていきます。

(2)将来の展望:事業が目指す米子市の未来像

本事業の最終的な目的は、単なる業務効率化に留まらず、クラウドシステムの導入によって保育士の事務負担を軽減し、労働環境を改善することで、保育人材の確保と定着を目指します。安定した人材確保は、保育サービスの充実と質の向上に直結します。これにより、米子市が基本理念として掲げる「安心して子どもを生み育てられ、子どもがいいきと個性豊かに育つまち」の実現に貢献していきます。